

学校名：倉敷市立玉島高等学校

『いちたま メモリアル リボーン プロジェクト』

SDG's の 17 の目標 No

12

活動目標

学習活動

活動生徒 令和4年度商業科入学生

活動目標 本校閉校までに、廃棄予定の本校備品等をリサイクル・リユースしたり、アップサイクルなどで姿を変えて閉校後も再利用品として残す。(廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。)

活動内容

活動計画

1年次 関連科目の学習で「資源」の流れや「循環型社会」の背景にある経済・社会・環境の課題を知る。そして、持続可能な資源循環の未来を考え発表する。さらに、



経済・社会・環境の視野を広げ世界の情勢に対する思考を深めたり、資源循環に取り組む行政や企業等の取組についても学ぶ。そして、閉校する自校の廃棄材をどのように有効に処理していくべきかを考える。

2年次 廃棄材をアップサイクルしてもらえる協力企業の模索と、具体的なスケジュールの調整。

3年次 アップサイクルによるメモリアル製品の製作と保管場所の選定。

生徒は、単なる閉校に伴う環境に優しい備品の廃棄方法の選択だけではなく、一部を自分たちの思い出の品に変えていく活動であることを知り、アイデアの創出に意欲的に取り組んでいる。今後、協力企業等を模索していくことになるが、特殊な作業になるので請負企業との交渉等や予算立ての見通しに不安が残っている。